

[た よ り]

## 佐賀県支部だより

力武 修

佐賀県は平成19年12月1日現在の推計人口が859,015人と小さな県で、透析医療機関は30施設あります。小さな県ですので透析医療機関のまともは良いのですが、日本透析医会会員はわずかに7施設です。平成16年に支部だよりを書きましたが、佐賀県透析医会の会員数は増えず逆に減少しています。機会があるたびに入会を勧めていますが、なかなか入会してもらえません。会費が問題のようです。

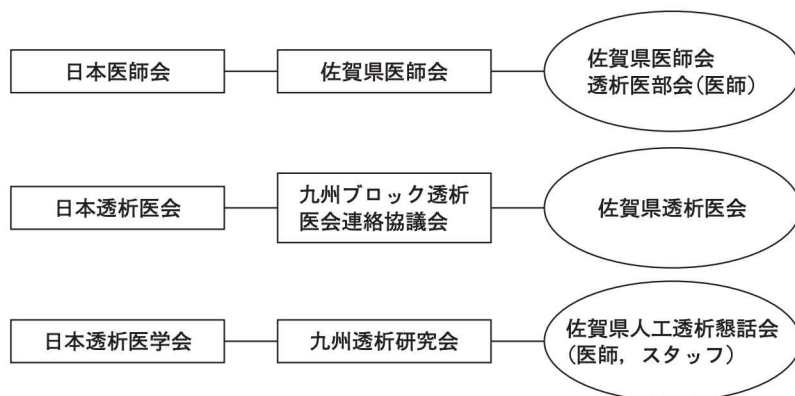
会独自の活動は特に何もやっていませんでしたが、平成19年5月、福岡県に習い、透析現場のスタッフを対象とした第1回の安全管理セミナーを開催しました。講師の土井英史先生に感染対策について講演していただきました。この会は翌日から現場で役立つ安全管理対策を目的として、今後も年1回は開催していきたいと思っています。

現在、佐賀県の透析関係の組織は図にあるように三つあります。佐賀県透析医会は日本透析医会の支部です。

佐賀県人工透析懇話会は日本透析医学会関連との位置づけで、年2回開催され、施設からの一般演題発表と特別講演があり、参加すると日本透析医学会と日本腎不全看護学会の単位を得ることができます。

佐賀県医師会透析医部会は平成18年11月、陣内謙一先生を会長として設立されました。平成17年に発足した九州ブロック透析医会連絡協議会に参加するようになり、他の県の状況を把握できるようになりました。その中で、特に災害対策等における県医師会や行政機関との連携の重要性が認識されたのがきっかけです。以前にも設立の動きがあったのですが発足にはいたりませんでした。今回は県医師会の沖田信光会長並びに諸先生方の御理解を得ることができました。これにより透析医療機関と医師会や県市町村との対応が円滑になることが期待されます。

今後ますます透析医療を取り巻く環境は厳しくなりますが、日本透析医会にはご支援をお願い申し上げます。



佐賀県の透析関連組織